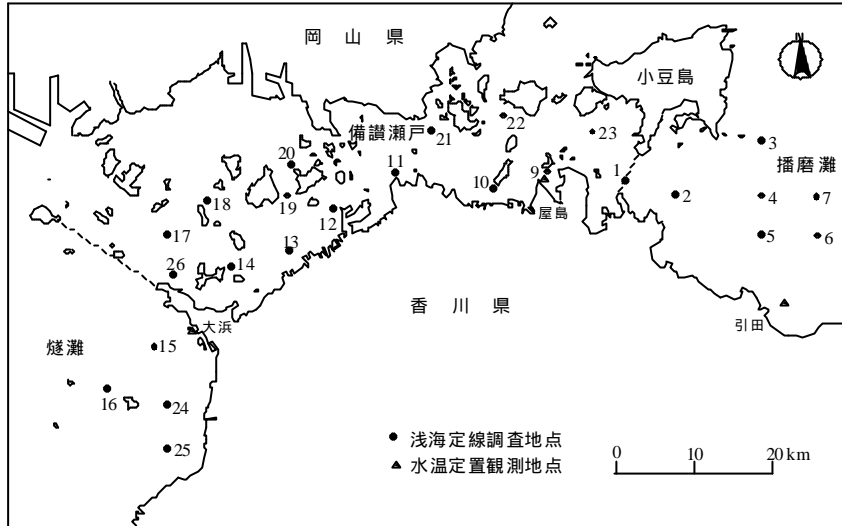


# 香川県漁海況速報 平成15年12月 (H15- 9号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成15年12月2日(播磨灘)、3日(備讃瀬戸、燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや高めからかなり高め」、塩分は「やや低めから平年並み」、透明度は「平年並みからやや高め」、溶存酸素は「著しく低めから平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	18.1	18.1	18.1	31.8	31.8	31.9	9.0	4.96	5.02
	平年値	16.7	16.7	16.8	32.0	32.1	32.1	7.1	5.41	5.32
	平年偏差	1.3	1.4	1.3	-0.3	-0.3	-0.3	1.9	-0.45	-0.30
	状況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	著しく低め	かなり低め
備讃瀬戸	14地点平均値	16.9	16.9	16.9	31.5	31.5	31.5	5.8	5.03	5.08
	平年値	15.9	15.9	16.0	32.0	32.0	32.2	5.2	5.38	5.33
	平年偏差	1.0	1.0	0.9	-0.6	-0.5	-0.6	0.6	-0.35	-0.25
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	やや低め	やや低め
燧灘	4地点平均値	17.2	17.2	17.2	31.9	32.0	32.0	6.9	5.16	5.12
	平年値	16.4	16.3	16.4	32.3	32.3	32.4	7.5	5.40	5.27
	平年偏差	0.9	0.9	0.9	-0.4	-0.3	-0.4	-0.6	-0.24	-0.15
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成13(2001)年度

透明度：昭和58(1983)～平成13(2001)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

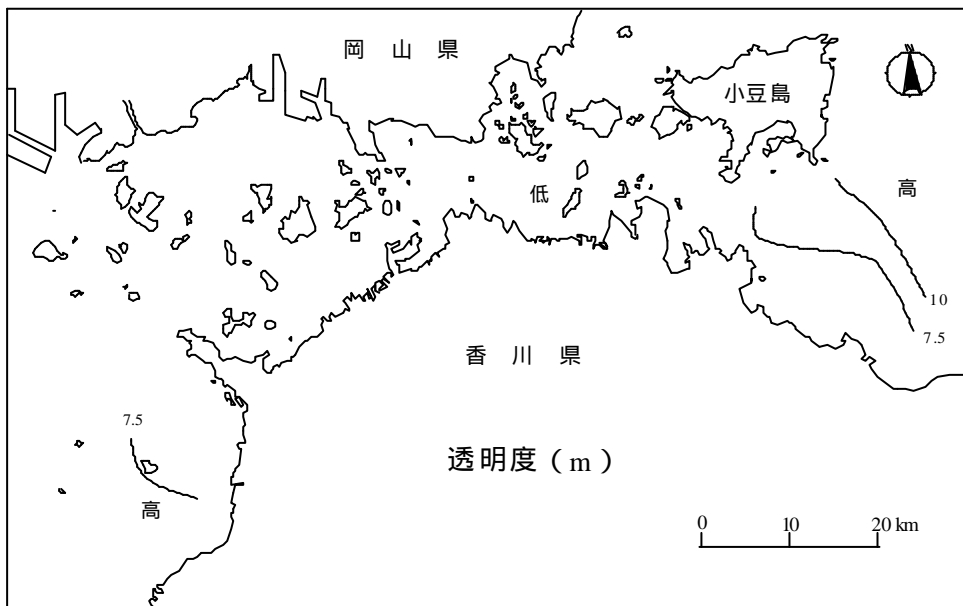
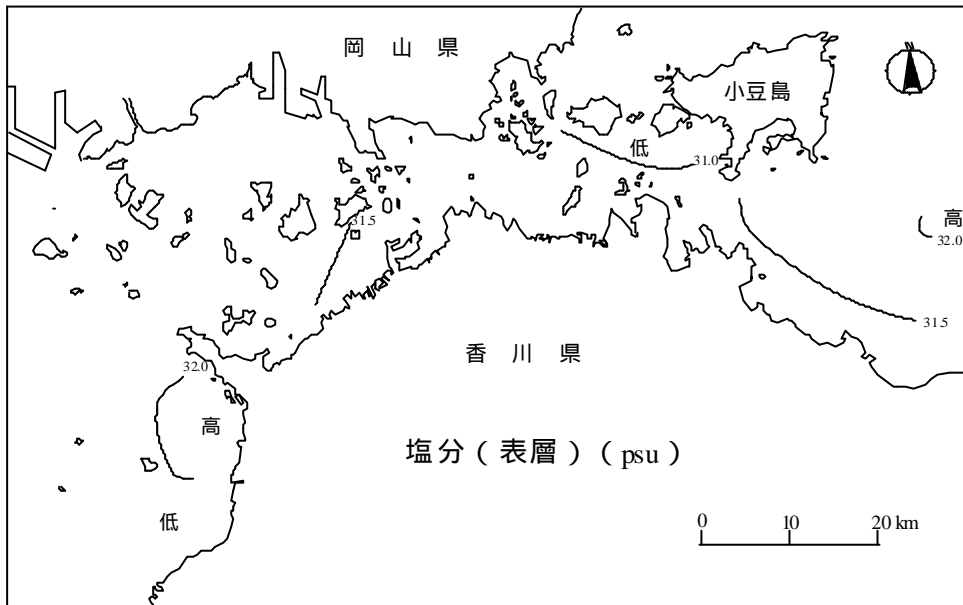
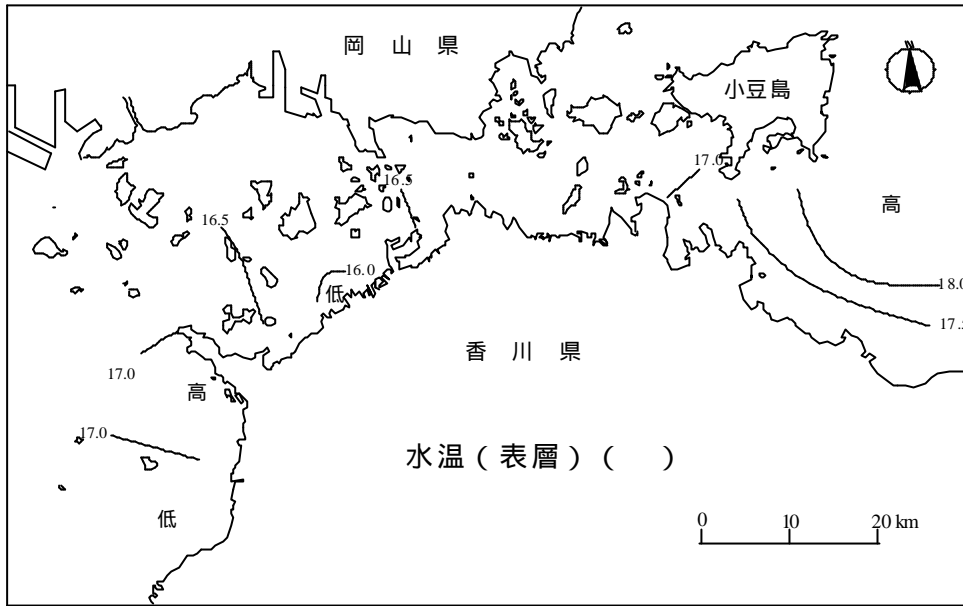
水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み 0 平年偏差 < 0.6 ( : 標準偏差)

やや高め(やや低め) 0.6 平年偏差 < 1.3

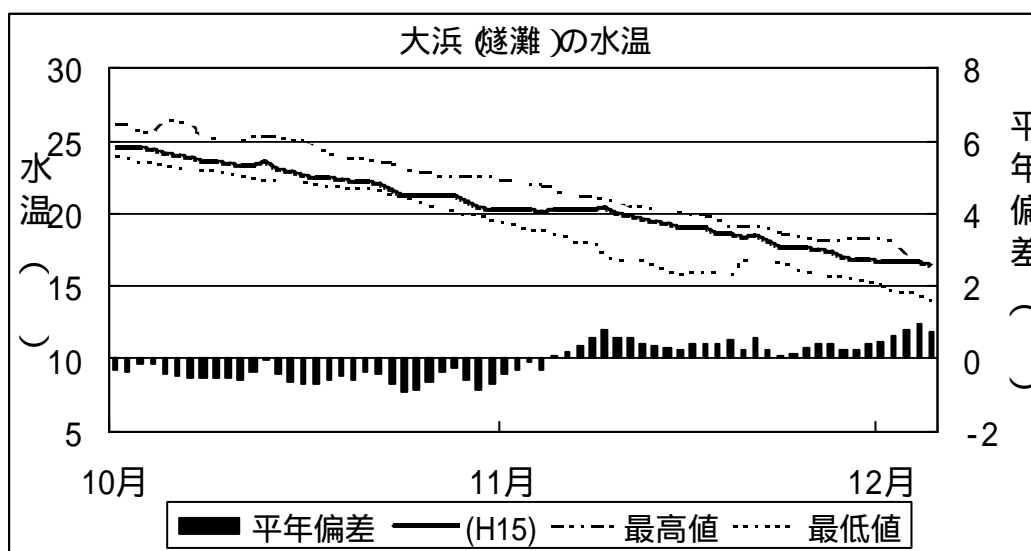
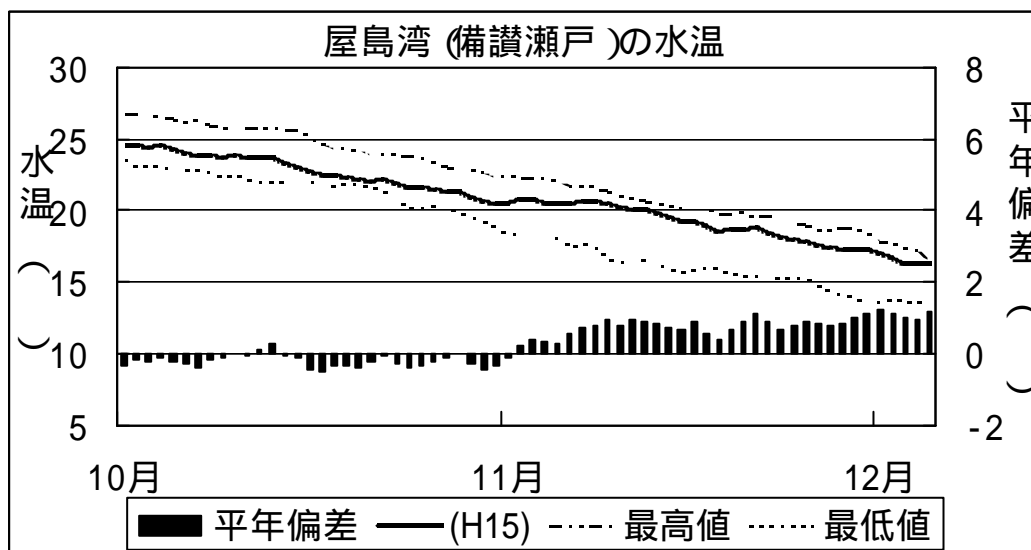
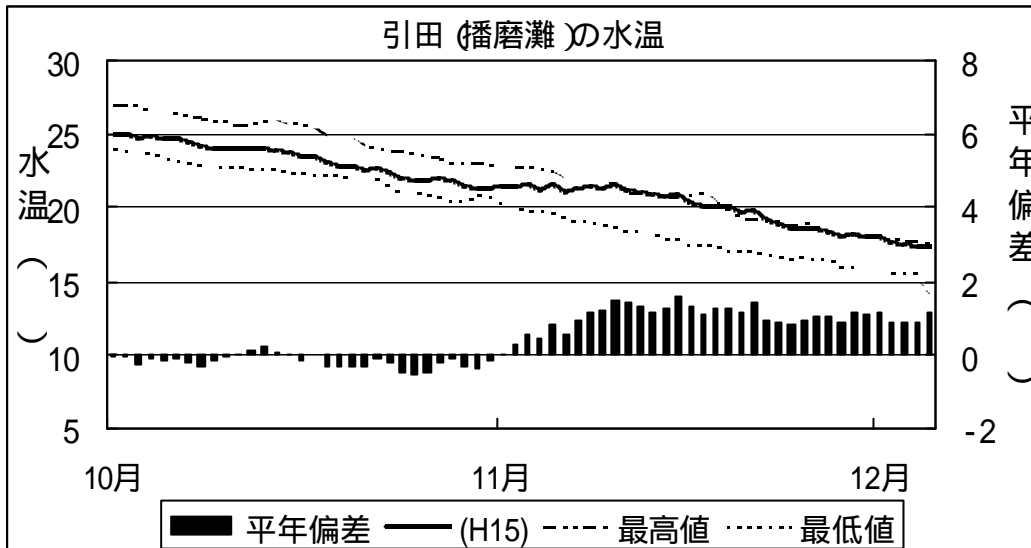
かなり高め(かなり低め) 1.3 平年偏差 < 2.0

著しく高め(著しく低め) 2.0 平年偏差



2) 定置観測(水温)

播磨灘(引田): 11月に入り平年偏差が大きくなり, 1 前後で推移している。  
 備讃瀬戸(屋島): 11月に入り平年偏差が大きくなり, 1 程度で推移している。  
 燧灘(大浜): 11月に入り平年偏差が大きくなり, 1 程度で推移している。  
 平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成14(2002)年  
 屋島: 昭和50(1975)~平成14(2002)年



### 3) 赤潮

播磨灘：発生なし。  
備讃瀬戸：発生なし。  
燧灘：発生なし。

### 4) 卵稚仔

調査日：平成15年12月2日（播磨灘）、3日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.88	0.38
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.47	0.07
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.97	0.17

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	-	-
備讃瀬戸平均	-	-	0.0%	0.0%
燧灘平均	-	0.0%	0.0%	0.0%
総平均	-	0.0%	0.0%	0.0%

- 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成14（2002）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成14（2002）年度

カタクチイワシ、マイワシの卵稚仔は、全ての調査地点で採集されなかった。

## 2. 漁況

11月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網では主に小エビ類、シャコ、小型イカ類、タイゴが漁獲されているが、全般的に低調である。 桁網ではタチウオ、マアジ、スズキが漁獲されている。 船曳網のカタクチイワシ漁は12月に入って漁が終了した。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、小エビ類、マダコ、イイダコ、小型イカ類、アカニシが漁獲されているが、イイダコの漁獲が増えてきている。 中讃・高松沖のタイラギ潜水器は12月1日から漁期が始まり、漁獲量は80～100kg/日・隻とまずまずであったが、小型貝が主体であった。
燧 灘	底びき網では主にメイタガレイ、シャコ、ガザミ、テンジクダイ、小エビ類、小型イカ類が漁獲されている。